

平成27年度第3回草加市みんなでまちづくり会議

議 事 録

1 開催日時

平成27年10月22日(木) 午後7時～午後9時10分

2 開催場所

草加市立中央公民館 第1・2講座室

3 出席者の氏名

(1) 登 録 員 26名

(2) 事 務 局 みんなでまちづくり課：山岡課長、藤倉課長補佐(兼)市民活動センター所長、巖上主任
井上主事、二見主事、吉田主事

市民活動センター：亀山主査、細野主事

(3) 草 加 市 総合政策課：岡田課長補佐

4 会議の議題

「市民が安全にかつ快適に利用できる公共的施設づくり」

5 公開・非公開の別

公開

6 傍聴者数

0人

7 会議の内容

別紙議事録のとおり

8 議事録署名人

大塚晴子登録員、宮田新一登録員

平成27年度第3回草加市みんなでまちづくり会議 議 事 録

【実施日時】 平成27年10月22日（木）午後7時～午後9時10分

【実施場所】 草加市立中央公民館 第1・2講座室

【出席者】 まちづくり登録員：26名、傍聴者：0名

事務局：みんなでまちづくり課 山岡課長、藤倉課長補佐(兼)市民活動センター所長、巖上主任

井上主事、二見主事、吉田主事

市民活動センター 亀山主査、細野主事

草加市：総合政策課 岡田課長補佐

1. 開 会

2. 議 事

＜議題＞ 「市民が安全にかつ快適に利用できる公共的施設づくり」

3. 閉 会

【議事内容】

-開会-	
【事務局】 (藤倉課長補佐)	本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。定刻になりましたので、平成27年度第3回草加市みんなでまちづくり会議を開催します。本日司会を務めさせていただきます、みんなでまちづくり課課長補佐の藤倉です。よろしくお願いします。 初めに、事務局のみんなでまちづくり課課長 山岡よりご挨拶申し上げます。
【事務局】 (山岡課長)	本日は、会議開催のお知らせをさせていただきましたところ、ご多用の中お集まりいただき誠にありがとうございます。また、日頃からのまちづくり活動に対しまして、市民の一人として厚く御礼申し上げます。 今年度、3回目の会議でございますが、そろそろ次のテーマで話し合っていく事にした方がよいのではないかという意見が前回の会議でありました。ただし、今年度第1・2回の会議で出された意見をある程度整理していく必要があるのではないかという意見もございました。そこで、有志による(仮称)小委員会という形をとり、第1・2回会議のまとめをしていただいております。今日は最初に、まとめていただいたものについてお話があり、それが終わってから新しいテーマである「市民が安全にかつ快適に利用できる公共的施設づくり」について話し合う事になりました。みんなでまちづくり会議の3つの機能のうち、今回も「市民同士の話し合いの場」という位置づけでございます。限られた時間ではございますが、青柳伊佐雄様の進行にご協力をいただきながら、皆様にとって意義のある議論となる事をお祈りしております。今日はどうぞよろしくお願いいたします。
【事務局】 (藤倉課長補佐)	【配布資料確認】 ①会議の次第 ②資料「第1・2回草加市みんなでまちづくり会議まとめ」 ③別添「ふれあい・いきいきサロン一覧」

	④資料「本日のテーマと提案趣旨」 ⑤資料「テーマ一覧」 ⑥資料「みんなでまちづくり会議の運用」 ⑦条文「草加市みんなでまちづくり自治基本条例」 ⑧条文「草加市みんなでまちづくり自治基本条例に定めるまちづくりの参画手続きに関する規則」 ⑨リーフレット「草加市みんなでまちづくり自治基本条例」 【会議録の署名について】 次に、会議開催に当たり議事録を作成しますので、議事録の署名人を2名決定します。本日は、大塚晴子様、宮田新一様をお願いしたいのですが、よろしいでしょうか。大塚様、宮田様、よろしくお願いします。
【議事録署名人】	はい。（議事録署名人了承）
【事務局】 (藤倉課長補佐)	本日の議題は、「市民が安全にかつ快適に利用できる公共的施設づくり」です。議題に入る前に、平成27年度第1・2回みんなでまちづくり会議のまとめのご報告をさせていただきます。本日の進行は、前回から引き続き、まちづくり登録員の青柳様をお願いする事になっておりますので、この後、青柳様の進行で進めてまいりたいと思います。それでは青柳様、よろしくお願いします。
【進行】	皆さんこんばんは。今回で進行役は3回目になります。ご協力の程よろしくお願いいたします。最初に、第1・2回みんなでまちづくり会議のまとめについて、簡単に報告をしたいと思います。（資料「第1・2回草加市みんなでまちづくり会議まとめ」） まちづくり登録員から提案があった「地域コミュニティの再生―安全・安心して暮らせるまちづくり―」というテーマについて、どのようなまちづくりをしていったらいいのか、市への期待、それから市民ができる事、或いは協働でやるべき事等をこの2回の会議で話し合ってきました。とても大きなテーマなので様々なところに関わりがあり、それをどのような視点でまとめていくのか、或いはどのような視点で市に提言していったらいいのか大変悩みました。（仮称）小委員会でも、大きな問題である事を確認しました。ただ、話し合っただけで終わりにするのではなく、何らかの形で残して今後活かせるものにしたいので、今日お配りしたまとめを作成した次第です。 議論の中身を『ハード面の住環境』『高齢者の独居世帯』『コミュニティの希薄化』『人と人をつなぐシステムの構築』『施設の(再)活用』『情報発信・情報収集』という6項目に整理しました。主には第2回の会議で述べた主な意見、それに対して実際に市がどのような取り組みをしているのか、市民がどのような取り組みをしているのか、市と市民がどのような協働の取り組みをしているのかについてまとめました。協働というのは新しい言葉なので少し分かりにくいかもしれません。市民と行政が協力してというよりも、もう1・2歩先に進んで、それぞれの責任や役割分担をはっきりさせた上で事業に取り組んでいきます。お互いの責任や役割分担を具体化させた取り組みを、10年位前から協働という新しい言葉の中で進めております。

	率直な私自身の感想として、改めてこのようにまとめてみますと、市の取組みというのはある意味で大きな課題です。地域的にも比較的広かったり、ある程度の数量という中身を持っている、或いは予算がかかる事です。それから、一人一人の市民にとってどうなのか、或いは地域の中でどうなのかという事が市民の取組みとして出て来ています。市の取組みというのは、言葉を悪く言えばおおざっぱな部分があると思います。一人一人の市民の目から見ると、ザルのように抜けているところや欠けているところが結構あると思います。市民からすると、本来だったらそこを細かく埋めていくものになるべきですが、やはりそこは、それぞれの立場の違いの中で行き違いやすれ違いもあると思います。大きなものと小さなものとの間を埋めていくものとして、市と市民との協働の取組みが徐々に活発になっているというのが、私のこの議論を通した感想です。やはり、行政だけではできない。だからと言って市民の力だけでもできない。お互いの力のよいところを合わせて役割分担或いは責任の分担を決めて、場合によってはお金を出す事も含めてですが、知恵と力をお互いに出し合って、新しい形で取り組んでいるのが市と市民との協働の取組みだと思います。これらの延長線上に、みんなでまちづくり自治基本条例、それからみんなでまちづくり会議が位置づけられていると思います。 これから若干の時間で皆さんからこの報告を見た感想や補足意見を出していただき、締めくくりに【テーマ出題者①】から感想を言っていたいて、まとめにしたいと思います。なお、このテーマについてはこれで終わりではなく、様々な課題がまとめの中に含まれているので、場合によってはより具体化するための提案が皆さん方から出るかもしれません。或いは、市の取組み、市民の取組み、市と市民との協働の取組みが発展していくかもしれません。その時は、また必要に応じて提案していただき、議論をしていきたいと思っています。それから、この資料自体も活動や取組みが発展していくに従って、より具体化させていきたいと思っています。また、みんなでまちづくり会議の意見として、事務局から庁内にPRしていただきたいと思っています。 では、皆さんから感想や意見をいただきたいと思っています。その後、次のテーマの議論に入りたいと思いますのでよろしくお願いします。
【登録員A】	私は、課題・問題④『人と人をつなぐシステムの構築』の“市と市民との協働の取組み”に書くべき事として、“市の取組み”としては市民活動センターがみんなでまちづくり自治基本条例に基づいてできており、そこで新たに市と市民との協働で「協働のひろば」を実践しているわけですから、これを落としていただければ困るという思いがあって、一言申し上げさせていただきます。
【進行】	「協働の広場」については、確かにこの中でも議論の一部でしたので、付け加えたいと思いますがよろしいでしょうか。その他、ご意見や感想はありますか。
【登録員B】	みんなでまちづくり会議の進化が素晴らしいと思います。初めて登録員にならせていただいた頃は、この会議から出た意見は参考にさせていただきますという事でした。それはおかしいという意見が皆さんから活発に出たと思うのですが、みんなで頑張って歩み寄り、先程、反映させていただきますという事で話がありました。みんなでまちづくり会議の方法も、誰かの意見という事ではなくて、一人一人が考えを出せる、みんなで考えを共有できる

	システム、草加市民の民主主義というのが本当に素晴らしいと思っています。今後、この会議が更に発展し、市民の意見が活発に出てきて検討されるような草加市になっていけたらいいと思っています。
【進行】	ありがとうございます。他にはいかがでしょうか。
【登録員C】	みんなでまちづくり会議で何かテーマがあって、そこで出たみんなの意見が市政に反映されるのは民主主義ではないです。民主主義は、我々が選挙で選んだ人達が話し合っ、それが多数決で決まるのであって、我々がここでおかしいよ、行政にお願いしますと言って、それが行政に全部反映されたら、それは民主主義ではないです。
【登録員B】	草加民主主義という事で、新しい民主主義を目指しています。政治家が市民の意見を反映してくれるような民主主義を望んで、草加で作っていきたいと思っています。
【進行】	この問題はそれぞれの発言の記録として留めさせていただきたいと思います。
【登録員D】	今は、みんなでまちづくり会議で出たような意見が反映されるチャンスだと思います。なぜチャンスかと言うと、草加市では第四次草加市総合振興計画と草加市都市計画マスタープランがこれから固まっていく段階で、市民の方にヒアリングをしたり、パブリックコメントを実施している段階にあると思います。民主主義かどうかという話は別にして、みんなでまちづくり会議で出て来た要望を汲み取ってもらい、実際に市政に反映されれば、我々が集まって話し合った甲斐があるのではないかと考えております。ですから、今日、参加されている皆さんは、市に意見を言えば何か伝わるのではないかという気持ちで集まっていると思うので、あきらめずに言い続ける事が大事だと思います。まとめていただいた事に大変感謝しております。
【進行】	ありがとうございます。その他いかがでしょうか。
【登録員E】	こうして意見をまとめていただき、すごく有難いと思います。この「ふれあい・いきいきサロン一覧表」を見て、市内にサロンがたくさんある事に驚き、嬉しかったです。こういう情報が広くみんなに届く事を望みます。どこでやっているのかという事も分かります。それから、課題・問題②『高齢者の独居世帯』の“市と市民との協働の取組み”についてですが、「ふれあい・いきいきサロン」は別の一覧になっており、地域包括支援センターについては広報等でもよく見ているのですが、「生きいき元気サロン」のNPO法人コミュニティケアクラブ埼玉というものの一覧がないので、それも可能ならば加えていただきたいと思います。そういった一覧が手を伸ばせば届くところにあるといいと思います。
【進行】	ありがとうございました。
【登録員F】	今日初めてこの会議に参加したのですが、この資料を見ても何の目的でこのような会議をやっているのかよく分かりません。初めて来たので申し訳ないですが、途中から参加しても

	会議の目的が分かるような説明をして欲しいです。
【進行】	皆さんからご意見を伺った後に説明の時間をとりたいと思います。その他にご意見をいただける方がいらっしゃいましたらお願いします。
【登録員G】	最初に言われた全体にももちろん関心があるのですが、身近なところでの本当に小さな取り組みがやはり全体につながると思うので、そこでどんな取り組みが行われているのかという事がすごく大切な事であり、私はそういう事をやりたいと思っています。「ふれあい・いきいきサロン」以外にも、みんなが安心して暮らせるために、いろんな団体が身近なところで様々な取り組みを行っていると思います。そのような事を丁寧に拾って全体としてみんなの力にしていく事もお願いしたいと思っています。 課題・問題①『ハード面の住環境』の意見として「子どもが遊べる施設が欲しい。他市にはもっと規模の大きい施設がある。」とありますが、私が住んでいる地域には児童館がありません。実際子ども達をみていると、安心して過ごせる環境が欲しいという気がしているので、これだけでまとめられてしまうと結構違うと思い、私の意見とさせていただきます。
【進行】	ありがとうございます。これだけでおしまいにしてしまったりまとめたりするという事ではないという事をご了解いただければと思います。一つの入口としてこの資料をまとめたというように考えていただければと思います。その他ご意見はありますか。
【登録員H】	資料「本日のテーマと提案趣旨」の中で、公共的施設が古い順に並んでいますが、どのような基準で並べたのでしょうか。歴史民俗資料館は大正15年にできました。歴史や文化を市民に伝えていく施設をなぜ除いたのか分かりません。90年も使っています。40年位使ったから建て替えろというのはどうかと思います。いろんな角度から考えていく必要があると思います。それから、公共的施設づくりについては、古い順から云々ではなくて、いろんな要素から判断して話し合って行けたらいいと思います。
【進行】	ありがとうございます。次のテーマに入るための貴重なご意見だと思います。 それでは【テーマ出題者①】から全体の感想をお話しいただいた後、先程保留しましたこの会議の目的について、事務局から簡単に確認をしていただきたいと思います。その後、次のテーマの議論に入りたいと思いますのでご協力をお願いします。
【テーマ出題者①】	昨年、みんなでまちづくり会議でテーマを募集していたので、「地域コミュニティの再生～安全・安心して暮らせるまちづくり～」というテーマを応募したところ、採用していただきました。採用していただいたのはいいのですが、1年弱議論に参加させていただいて、広くて深くてなかなか難しいテーマだと知るところとなりました。今回、まとめの資料を作っていた皆さん、それから事務局にはお礼を申し上げます。 この資料を改めて拝見しますと、課題別にかなり多域に渡って分かりやすくまとめたいただいたのですが、分析と指摘までできれいいと思います。今、皆さんからご意見をいただいたように、これからどうするのかという事が大事ですが、全部やるのは難しいので、やはり市民の中から意見を出していただいて、優先順位をつけてまとめていくという方向が、み

【進行】	みんなでまちづくり会議に則っているのではないかと思います。全部を市に要望してできるかと言うと、ほぼできないと思います。市民レベルでこういった要望が重要で喫緊の課題として備えられているのかを十分汲み上げていき、できればこの中の有志で、今年は無理だとしても来年には具体的な提案として、市或いはNPOでもいいのですが、提案していく中で実現できればいいと思っております。 特にこの議論を通じて、公助と共助、共助と自助をつなぐところに隙間があると感じておりますので、その辺りを皆さんと一緒にまた改めて考えていければいいと思っております。
【事務局】 (藤倉課長補佐)	ありがとうございます。この議論をこれでおしまいにするのではなくて、私達の方で継続していく、その事を通してより快適な草加、より住み良い草加のまちをつくっていく事につなげていく必要があると思います。 では、このみんなでまちづくり会議の目的について、事務局から説明をお願いします。 それでは、本日皆様にお集まりいただいている“みんなでまちづくり会議”につきまして、概要をご案内させていただきます。 みんなでまちづくり会議は、草加市みんなでまちづくり自治基本条例に基づき開催している会議です。草加市みんなでまちづくり自治基本条例は、草加市の最高規範として誰もが幸せなまちをつくるため、市政の基本となる原則や方針を定めるものとして施行されております。この条例の特徴は、市民の提案権や発言の場などを保障しており、市民が直接まちづくりに参加できるところにあります。本日、この会議に様々な分野の方がお集まりいただき、意見を出していただきます。意見交換をした結果、よりよいものにまとまって市に提案してみようという形になれば、皆様のまちづくり計画を市に提案する事も可能です。提案が提出されると、市は市政に反映するかどうかを検討して、その結果を再度みんなでまちづくり会議の場で登録員の皆様に説明する仕組みになっております。 今年度、みんなでまちづくり会議は、「市民同士の話し合い」「市からの発信・情報共有」「提案について考える」という3つの機能で運用をしております。今回の会議では、「市民同士の話し合い」として第1・2回のみんなでまちづくり会議で話した内容のまとめを報告していただき、併せて新たなテーマについて市民同士で話し合う流れになっております。
【進行】	何回か会議に参加している方にはある程度ご理解いただけたかと思います。より住み良いまちにしていけるために、このまちをどんなまちにしていけるのかについて、私的な場ではなく、市の職員も聞いている公の場で市民同士で話し合い、市の施策・方針に反映できるものについては反映させていこうというのがこの場の趣旨というように私は理解しております。 1回の話し合いや1人の意見で全部が決まるわけではなく、多数決の場でもないの、この場の中でのなるべくたくさんの方の合意の中から得られた事について、現状で可能な事については市で取り上げて反映してもらえようように動かしていく場ではないかと理解しております。いずれにいたしましても、今日だけという事ではなく、この会議は今後も引き続き開催していきますので、ご出席いただく中で、相互に理解を深めていければいいと思います。 では、2つ目の提案に入りたいと思います。【テーマ出題者②】からテーマの趣旨についてご説明をお願いします。

	え方として、先入観的に言うてはいけないのですが、市民体育館を先に壊して文化会館の機能を含めた多機能のビルができれば、そちらが完成したら文化会館の機能を移して、文化会館の部分は国に名勝指定された草加松原の大変すばらしい場所ですから、文化ゾーンとしてもう少し文化観光の面からも活かせるようなもの考えるといいのではないかと思います。
【進行】	例えば、そういった施設の中に、先程話が出た歴史民俗資料館のような機能を含めていくという事も、この場の中の議論にしていいいのでしょうか。
【テーマ出題者②】	はい。私も、草加の歴史や文化を大切にしまちづくりをあちこちで勉強させていただいています。草加の歴史を文化としてとらえて、幅広い草加の歴史と文化を紹介できる博物館のような施設が入ってもいいと思います。
【進行】	ありがとうございます。それでは、文化会館ゾーンの再構築という方向で議論をお願いしたいと思いますが、皆さんそれぞれ思いがあると思います。それを基本に置いていただいて、ここにあるような全体的な施設の事も含めて各テーブルの中で今日は比較的フリーに話をしていただきたいと思いますがいかがでしょうか。
【登録員G】	議論の方向性についてですが、このテーマは既存の施設だけをイメージするのではなく、今、市民が何を望んでいるのか、どういった事をするのが大事なのかという全体的な事についての議論を深めて、その上で個別の問題に入っていくべきではないかと思います。その事ばかりではなくて、いろんな事があると私は思います。
【登録員I】	草加市民の中に障がい者はいないでしょうか。それから、お年寄りはいないでしょうか。妊産婦の方はいないでしょうか。健常者しかいない社会というのは変な社会です。だから、いろんな人がある事を考えて、いろんな事をつくって欲しい。基本はそこです。男性の方に一番分かりやすい例としては、小便器のところに手すりがあります。これは、足腰が悪い方がつかまれるようにあります。法律で決まっているのだと思いますが、どこについていますか。足腰が悪い人達はどこまで行けばいいのですか。一番奥まで行かなければいけないのでしょうか。そういった人達が使いたい施設なので、それは一番入口に近いところにあるはずなのです。
【進行】	ありがとうございます。先程ご意見があった“今必要なものを”という部分で補足をお願いします。
【テーマ出題者②】	私が提案したのは、健常者の人だけが使いやすいものをつくるという意味ではありません。誤解しないでいただきたいのですが、子どもからお年寄りまでいろんな方がいらっちゃって、もちろんそういった市民のニーズを汲み取る事が大事です。今日は施設をつくる手前で、どういった設備が必要なのかという所から入っていいと思います。必要な設備が備えられていないような建物をつくっても、“仏作って魂入れず”のような、ただ形だけ立派なものを作っても実際には使いにくいものはいらないと思います。何が必要なのかという事も含めて今日は話し合いをすべきだと思います。

【進行】	このように話し合わなければいけないと言う縛りはありません。先程の提案の趣旨を踏まえていただき、それから全体の中でお二人の方からいただいた発言も踏まえて、各グループで話を進めていただきたいと思います。グループ毎に進行役と発表役を決めてから議論を進めていただければと思います。それでは、8時半まで各テーブルで議論をした後、まとめを発表していただくという流れで進めたいと思います。 【グループ毎の話し合い】
【進行】	各グループからの報告をお願いします。全体での意見交換も大事にしたいので、1グループの発表時間は3分程度をお願いします。
【登録員J】	Eグループです。非常に人と人とのつながりがいいグループでした。最初に何を話すかという事になりました。非常に幅が広いところで、文化会館は文化施設であり市の中心にあるので、他に影響を及ぼせそうな具体的な見本となる意見を出したいという事で、文化会館に対して具体的な意見を出す事になりました。 まず、文化会館は使い勝手が悪く老朽化が進んでいるので、建て替え以外にはないという意見が全員からでました。ちょっとしたエピソードを言いますと、会議室の中は赤い絨毯ですが、切れているところがあってつながっておりません。そこに引っ掛かる可能性があるのですが、私はいつも直して欲しいと言っておりますが、直せないと言われます。そのような訳で、まずは建て替えがいいです。それから、ゾーンとして考えた時に、やはり複合型がいいだろうという意見が出ました。体育館、それから文化施設、そして今使っている会議室などです。それに対して、女性からは体育館と文化会館をつなぐツインタワーにして、下は庭園ゾーンにするというのではないかという意見がありました。建物を考えていく中で、どのように利用していくのかというソフト面も同時に考えていただきたいと思います。それからお金の問題です。なかなか予算のない草加で、高層化をしてマンションなどの複合施設にしたかどうかという意見もありました。それからアプローチです。駅からお客様をお呼びするのに、あまりにもさみしいアプローチだと思いますので、歩きやすいアプローチにしていきたいです。下の庭園化に伴って、冒険遊び場を拡大するというのではないかという意見がありました。また、入口が入りやすい施設にして欲しいという意見がありました。
【登録員B】	具体的な設備についてです。誰にも優しい、誰も排除しない施設という事で、バリアフリーになっていて車いすでも使えるトイレ等、障がい者の方がチームになって、どのような設備が欲しいのかを聞いてもらえると一番いいと思います。トイレにベンチが欲しいとおっしゃっていた車いすの方がいました。また、文化会館の3階は階段しかないので、エレベーターやエスカレーターが欲しいという事と、駐車場がすぐに満車になってしまうので、ワンコイン（有料化）でもいいので、立体か地下の駐車場をつくってたくさん駐車できるようにして欲しいです。また、子どもが集まる施設、児童館やファミリーサポートセンターと合体して、子どもを預かってもらいながら演劇や市民活動ができるようなスペースが欲しいです。文化会館にはフリースペースがありますが、若い人達が集まっているのでそこを拡大したり、子育て支援センターと合体して相談室などを設けたり、大ホールの他にも小ホールやサ

	ブホールも設けて、市民の方が上演したり、ライブが出来たり、市民活動で舞台ができるような小さなホールをつくって欲しいという希望です。
【進行】	ありがとうございます。Dグループお願いします。
【登録員K】	文化会館にこだわらず、テーマの安全にかつ快適にという事にこだわって話し合いました。多く出た意見は、それぞれ何が欲しいかと言った時に、緑が多い公園や川底が見えるようなきれいな川、緑が多い草加市であって欲しいという事でした。子ども達にとっても公園でボールが使えない等の規制が多いので、そうか公園規模とは言いませんが、身近なところに公園があるといいです。そうすれば、災害が起きた時の避難所になるので、安心や安全、快適という事につながるのではないかという話がありました。他には、中学生・高校生を含めて子ども達の居場所や大人が集まれるサロン等、コミュニティセンターも含めてみんなが集えるような場所があったらいいと思います。他には図書館という話も出ました。ポイントは身近にある事で、せめて中学校区に1つなど、わざわざ行かないとそれができないのではなくて、身近な所にそういった施設がある事が大切ではないかという考えでした。他には子どものプールの話も出ました。また、施設だけあっても仕方がないので、やはりそこに人がいないと皆が集まらないという事でした。また、安心して子どもや大人が集まれるように専門家を配置する事も大事だと思いました。 文化会館については、ホールの使い勝手が悪いという意見がありました。特に、子ども達が見やすいようなホールをつくって欲しい、施設内が迷路のようなので使い勝手のいい施設にして欲しい、階段しかないのでバリアフリーとしてエレベーターを設置して欲しいという意見がありました。
【進行】	ありがとうございます。それではCグループお願いします。
【登録員L】	Cグループでは、文化会館、体育館にこだわらず、何の施設が欲しいのか、できるかできないか分からない施設をやるのかやらないのかという無意味な議論をするのかどうかという事を考えましたが、とりあえず、文化会館と体育館に限ってどういった方向で建てたらいいのか、夢みたいな事を語ろうかという事で話し合いました。文化会館や体育館を建て替えるのだったら、利用者の意見を聞いて、先程から皆さんが言ってらっしゃるように、健常者ばかりではなく障がい者、子どもや大人など、その施設を利用する全ての人達の意見を聞いて施設を建てて欲しいという希望がたくさんありました。今使っている体育館の施設は冷暖房の設備がなく、床もしっかりしてないし、建物も歪んでいるらしいです。今後、建て替える事になり、ではどういった建物がいいのかという事になった時に、やはり使い勝手の良い、冷暖房が完備した施設にして欲しいです。 それから、文化会館や体育館を建て替えた時に、自立して運営できるような方法を考えて建てて欲しいです。先程から皆さんの話の中で図書館などの施設が出ていますが、建て替える場合は様々な人の意見を聞いて、使い勝手のいい建物を建てて欲しいです。 これは私見ですが、みんなでまちづくり会議や他の会議においても、草加は産業の街であるにも関わらず、産業界の人の意見をまるっきり聞いていません。施設を建てるにしても、産業界を取り込んで意見を聞けば、お金を集める方法もまた違った方法があると思います。

【進行】	ですから、みんなでまちづくり会議にもぜひ産業界の人を呼んで欲しいと思います。 ありがとうございます。Bグループお願いします。
【登録員M】	各グループから様々な意見が出ましたが、自分達も思う所は一緒でした。Bグループで出た意見のポイントは、障がい者、高齢者に優しい施設をつくって欲しいという事です。否定的な感じになってしまうかもしれませんが、草加市の施設の現状は、高齢者や障がい者に優しくないです。古いからで済まらずに、いろいろ変えて欲しいというのが本音です。そう言った部分で、今までは車社会をイメージした社会をつくっていたと思うのですが、今後は車がなくても利用できるような、高齢者に寄り添うような施設を望んでおります。その上で施設の在り方として各グループから出ているように、複合施設、例えば体育館や児童館もそうですが、コンビニエンスストアや郵便局、市役所の機能を持たせるような施設が各地域に欲しいと思います。そういった施設に通えるような循環バスをつくるなど、利便性も考えた快適な施設をつくって欲しいです。地域住民にとって優しい施設を望んでいます。
【進行】	ありがとうございます。Aグループお願いします。
【登録員E】	皆さん一生懸命意見を出してくださいました。ポイントは、幅広い世代が楽しく明るく暮らせるまちという事です。とにかく楽しくなければという話になりました。また、文化会館の建て替えと言われても、あまり文化会館を使った事がないのでよく分からないという声もありました。自分達は何が欲しいのかという事を考えると、こういった問題はやはり行き詰まります。草加市でいくらかけたらこういった施設ができるのかという話も出ました。基本的には、皆さんがそれぞれの暮らしや活動している地域の中で経験している事の話が出ました。 文化会館のバリアフリーの話は何度も出ていますが強調します。3階の会議室に行くのにエレベーターが途中で止まってしまいます。車いすの方は担ぎ上げないといけないような施設は、元々結婚式場だったとはいえ、利用者が気の毒だと思います。これは私見が強く入っています。それから、地域にどういった人達がいるかという歴史的なニーズを考えていかなければいけないという事です。地域の中心に大きな複合施設が欲しいですが、子どもや高齢者が一緒に集まれるような場所だったら、バスに乗って遠くまで行かなくてもいいような身近な場所に欲しいです。空き家や空き店舗の活用ができないかという話も出ました。また、施設を利用中に具合が悪くなった場合、すぐに行けるような医療のネットワークはあるのかという質問がありました。自分の経験では、施設の職員が対応してくださって救急車を呼んでくれるのだらうと思ったのですが、そうすると、施設の職員は地域と密に関係を作っていく事が必要ではないかという意見が出ました。全体的に複合施設と言うのは、例えば児童館と高齢者の集まる場所を別々につくるのではなくて、同じ場所で一緒に触れ合える施設、文化会館についても様々な機能があり、いろんな人が集まって、できればお金も入ってくるような機能がある施設がいいと思います。他には、私は古くから住んでいるので感じてなかったのですが、後から来るとどこに何があるか分からず、ここは違う建物だというような事を言われ、草加の市役所は非常に不便だという意見がでました。文化会館もそうですが、市役所も便利な施設にして欲しいという声がありました。コミュニティバスについてはAグループ

	でも話が出ました。施設にもよりますが、備品が重いので軽いものにして欲しいという声もありました。
【進行】	ありがとうございます。それぞれ大変よくまとめていただきました。特に課題が出た事をもう少し共有できればいいと思うので、それぞれの報告に対しての意見や質問がありましたら、全体の議論の時間をとりたいと思います。いかがでしょうか。
【登録員J】	私達のグループでは、文化会館を建て替えるのであれば富士製革跡地に商工的な機能を備えた建物を、それこそ小ホールをつくったらどうかという話があったのですが、その辺りの現状はどのようになっているのでしょうか。
【進行】	担当課が違うので、今すぐに回答するのは難しいと思います。次回までの宿題という事でお願いしたいと思います。
【登録員J】	ここにもし何か建ったら、また話が違ってくるわけですから。
【進行】	富士製革跡地というのは、松原団地の左岸広場の一番南側の部分です。以前、富士製革という工場があって、今はそこが空き地になっています。商工会議所祭り等の際には駐車場に使われている場所です。
【登録員L】	今、左岸広場の話が出ましたが、いつまでも左岸広場ではなくて、みんなでまちづくり会議でネーミングを考えてみませんかという提案です。
【進行】	貴重な提案がありました。これは記録に残しておきましょう。次回の会議ではこれも含めて議論ができればいいと思います。その他にいかがでしょうか。
【登録員N】	Cグループは文化会館と市民体育館について話し合ったのですが、公共施設の中で一番危ないのは市役所の本庁舎です。市役所の職員は、みんな必ずヘルメットを持っているくらい危ないのです。だから、順位からいくと本庁舎の建て替えが一番だと思いますが、今日は文化会館と市民体育館について私達の夢を語らせていただければありがたいと思い、語らせていただきました。私は体育館をかなり使っていますし、文化会館にもコンサートを観に行っています。【テーマ出題者②】は専門家なので、今の音響設備がいかに悪いか感じてらっしゃると思います。ぜひ、実際に建て替える時には、そういった設備も当然考える事と、障がい者のための階段やエレベーター等、バリアフリーの設備も建築基準法に則ってつくる事になると思います。また、私はバレーボールをやっていて、体育館でコートは3面とるのですが、コートの間隔が狭いのでボールがボンボン飛んできます。他の県内の体育館に行っても、もっと余裕があります。いろんな競技の事も考えて、それから宮田さんがおっしゃったように障がい者スポーツなども盛んになっておりますので、そういう方達のための施設も併せて、機能として併設されればいいと思います。
【進行】	ありがとうございます。他にいかがでしょうか。

【登録員G】	私は最初に既存の建物の改修という事を提案しました。今日話し合った内容が、果たして今、草加の課題になっているのでしょうか。みんなでまちづくり会議でそれを市に要望して行くような流れになったとしても、私は少し違うような気がしました。限られた予算の中で、どこにお金をかけたらいいかという事をもっと精査して、十分考えていくべきだと思います。確かに、中心となる建物を何とかしたいという気持ちはあると思います。そういうものについて、もっと全体的な検討がないまま個別の問題を議論して、複合的な施設がいいとか、あれがあった方がいい、これもあった方がいいという事で議論がどんどん進んだ結果、意見がまとまって、これが私達の声ですというのは、全体が見えていないので不安だと思います。全体の中で、これでやりますという事をしっかりと議論した上で話し合いたいと思います。
【進行】	ありがとうございます。この後、【テーマ出題者②】から、議論全体を踏まえた感想を言っていて、その後、次回に向けての相談を行いたいと思います。
【テーマ出題者②】	皆さん、長時間ありがとうございました。グループ毎に発表していただき、私の提案に対して建て替えしかないという心強いお話をいただいてうれしかったです。そして、何も文化会館と市民体育館の建て替えだけではなく、もっと大事な事があるのではないかという意見もありました。もちろん、将来的に建て替えられたらいいと思っていますが、その前提として、草加市の施設の中で何が足りないのかをまずは探っていき、そういったものをきちんと取り込んだ形の施設をつくらなければ、先程言った“仏作って魂入れず”のように、施設ができました、でも使い勝手が悪いですと言うのは大反対です。 前提条件として、例えばバリアフリーの問題や、お年寄りに優しく子どもも受け入れられるように等たくさん課題がありますが、いい意見がたくさん出たと思います。左岸広場のネーミングを考えるといいのではないかという提案も面白かったです。以前、あの場所は松下倉庫跡地といいました。松下倉庫が工業団地に移った後、しばらく松下倉庫跡地と言っていました。その後、名称を綾瀬川左岸広場としました。綾瀬川左岸広場と言うと、綾瀬川が流れている越谷や岩槻でも左岸広場があるかもしれないので、もう少し草加らしい名前をつけたらどうかという意見がありました。そして、松原団地駅という駅名も、松原団地そのものが建て替えによりコンフォール松原という建物になっているので、変更する話もあるようです。そう言った事も含めて、草加松原地区は草加市にとって非常に重要なポイントとなるのではないかというご意見もいただきまして、なるほどそうだと思います。それから市役所は老朽化しているという話があったのですが、私が思うには、市役所と文化会館と体育館の機能を集約できる複合施設、それに商業的なものも含めて出来たら素晴らしいと思います。まだ夢の段階なので、皆さんのこういった意見をたくさん出していただいて、早急に実現できればいいと感じました。すばらしい意見をたくさんいただいて、本当に感謝しております。ありがとうございました。
【進行】	ありがとうございました。さて、すばらしい意見という事で締めくくっていただきましたが、この会議の課題としては、この素晴らしい意見を絵に描いた餅としてではなく、なるべく具体的な市への提言へとつないで、最終的には共にまちづくりについて考え合っていける

	場になっていけばいいと思っております。 市の組織や市の仕事のやり方というのは、縦割り感をすごく強く感じます。物事が縦になっていて、縦の列に乗らないとうまくいきません。例えば今日の施設の問題にしても、文化施設や体育施設、コミュニティ施設はそれぞれ所管が違っているので、一緒になるとうまくいかないというような事になりがちです。しかし、一人の人がいろんな施設を使っています。先程も体育館を常に使っているという話が出ましたが、体育館だけではなくて、他の施設も使っています。いわば、市民というのは網の目なのかもしれません。ただ、一人一人について言えば強い網の目ではなくて弱いところがある訳ですから、みんなが協力し合って、きちっとした網の目をつくって、その縦割りの丈夫なところを活用しながら、一人一人の市民にとって快適で住み良いまちをつくっていく所にこの議論がつながっていけばいいと思います。いずれにしても、今日は夢や希望をたくさん出していただきました。次回の会議については、【テーマ出題者②】とも相談しながら、もう少し具体化していく事が必要だと思います。左岸広場のネーミングについても、その中の1つとして考えられると楽しいと思います。今日はこれで事務局に進行を返したいと思いますがよろしいでしょうか。
【登録員】	【拍手】
【事務局】 (藤倉課長補佐)	ありがとうございました。本日、いろいろな意見をたくさんいただきました。次回会議は今年度最後になりますが、平成28年1月27日(水)を予定しております。次回の会議では、本日いただいた意見を資料に整理して提供させていただく事と併せて、もう1度このテーマについて深掘りした議論を行いたいと思いますがいかがでしょうか。
【登録員】	【拍手】
【事務局】 (藤倉課長補佐)	ありがとうございます。また、次回の進行ですが、ぜひ青柳様に引き続き務めていただきたいと思いますがいかがでしょうか。
【登録員】	【拍手】
【事務局】 (藤倉課長補佐)	ありがとうございます。青柳様、次回も引き続きよろしくお願いいたします。これをもちまして、平成27年度第3回みんなでまちづくり会議を終了いたします。ありがとうございました。

平成27年度第3回みんなでまちづくり会議

次 第

平成27年10月22日（木）午後7時～
草加市立中央公民館 第1・2講座室

1. 開 会

2. 議 事

<議題>

「市民が安全にかつ快適に利用できる公共的施設づくり」

※議題に入る前に、平成27年度第1・2回みんなでまちづくり会議（テーマ：地域コミュニティの再生－安全・安心して暮らせるまちづくり－）のまとめを行います。

3. 閉 会

- （みんなでまちづくり会議）・・・草加市みんなでまちづくり自治基本条例より抜粋

第26条 市は、次の事項について市民の参画を実現するため、まちづくり登録員で構成するみんなでまちづくり会議を開催します。

 - (1) 前条のまちづくり計画の提案
 - (2) パートナースhipによるまちづくりの政策提言
 - (3) この条例の運用の監視
 - (4) この条例の調査・研究
 - (5) その他この条例に基づくまちづくり

2 市は、前項の内容を公表します。

3 市は、みんなでまちづくり会議において提案され、話し合われた事項について、市政に反映するよう努めます。

4 市は、前項の反映結果について公表し、みんなでまちづくり会議で説明をします。

5 みんなでまちづくり会議は、前項の反映結果について納得できない場合は、別に定めるところにより、市議会で意見を述べる機会を求めることができます。

6 市議会は、前項の意思を尊重します。

■平成27年度第1・2回草加市みんなでまちづくり会議まとめ … テーマ『地域コミュニティの再生－安全・安心して暮らせるまちづくりー』

課題・問題①	主な意見	市の取組み（一部）	市民の取組み（一部）	市と市民との協働の取組み（一部）
ハード面の住環境	・道路幅が狭い。 ・自転車レーンが整備されていない。 ・自転車の運転マナーが悪い。 ・市営駐輪場が少ない。 ・高齢者が遊べる公園が欲しい。 ・子どもが遊べる施設が欲しい。児童館はそれぞれ頑張っているが、他市にはもっと規模の大きい施設がある。 ・子どもたちも水辺で遊べるなど、水辺を整備してほしい。 ・コミュニティマップが欲しい。	■出前講座「事故に遭わないための交通安全講座」の実施 正しい交通マナーや交通ルールを学んでいただくため、市の職員による出前講座を実施。（交通対策課） ■草加駅東西口の短時間駐輪場（市営）の整備 草加駅東口周辺の駅前広場等の安全な公共空間を確保するため、駅周辺店舗への買物客などの短時間駐輪に対応した駐輪場として、草加駅東西口に短時間駐輪場を設置。（交通対策課）		■瀬崎蒲原公園の整備（瀬崎まちづくり市民会議） 瀬崎蒲原公園を「より親しまれる公園に」との住民発意で、検討委員で案を作り、地域意見も反映して「軽スポーツを楽しむことが出来る公園の整備」プランを作成し、みんなでまちづくり会議に提案した。市は、平成18年度から、3年間で整備を行った。（みんなでまちづくり課） ■冒険遊び場事業（NPO法人冒険遊び場ネットワーク草加） 豊かな人間性やたくましく生きるための健康や体力など、子どもたちの「生きる力」を育むために冒険遊び場を開設する。（子ども政策課）

課題・問題②	主な意見	市の取組み（一部）	市民の取組み（一部）	市と市民との協働の取組み（一部）
高齢者の独居世帯	・高齢者の独居世帯のつながりはどうなのか。 →民生委員だけでは限界がある。 ・地域の問題とは、個人をどこまで認め、まちとしてどこまで入っているのか。 →個人情報取り扱いが邪魔をしている。 ・隣に住んでいる人を知らないなど、コミュニケーションが不足している。 ・身近な場所に住んでいる人が顔見知りになれば、周りの方がどのような生活をしているのか把握することができる。 →ある日その人が亡くなっても孤独ではない。孤独死ではなく一人死という言葉が根付く地域になれば良い。	■医療・救急情報管理システム事業 65歳以上のひとり暮らし高齢者や65歳以上の高齢者のみの世帯の人で、健康上不安のある方の医療・救急情報を市に登録し、救急搬送の際に消防本部から救急隊に情報を提供するとともに、登録者に対しては、地域の民生委員や地域包括支援センターの職員が必要に応じ、医療・救急情報の発信や見守り活動を実施して、高齢者の安全安心を図る。登録者数508人。（長寿・介護福祉課） ■配食サービス 配食業者が1日1回、昼食や夕食時に、ひとり暮らしの高齢者などに栄養バランスのとれた食事を配食する際、利用者の健康状態などの安否を確認する。年間利用者190人。（長寿・介護福祉課） ■高齢者地域見守りネットワーク事業 市内で活動している民間事業者に「地域見守り協力事業者」として登録してもらい、日常の事業活動を通じて高齢者に異変を感じた時に市や地域包括支援センターに連絡・通報してもらう仕組み。登録事業者数332。（長寿・介護福祉課）	■松原団地見守りネットワーク 松原団地地域において、孤独死・孤立死を防止し、要支援者等が安心して生活できるように支援すること及び、地域住民に地域社会での活躍の機会を提供することにより、社会福祉の増進に寄与することを目的として活動している。（NPO法人松原団地見守りネットワーク） ■新栄町団地見守りネットワーク 平成25年11月、民生委員の方々を中心に、活動テーマである『住み慣れた地域・家で安心して老いていくことのできる街づくり』をとの思いで、新栄町団地見守りネットワークがスタート。サロンの開催、高齢者のためのお手伝い等を行っている。（新栄町団地見守りネットワーク）	■生きいき元気サロン（NPO法人コミュニティケアクラブ埼玉・草加市社会福祉事業団） 「閉じこもり」又は「認知症防止」を目的に昼食を挟み3時間程度のふれあいサロンを実施し、心身の活性化を図る。延参加者数1504人。（長寿・介護福祉課） ■ふれあい・いきいきサロン（別添一覧） 様々な方が地域で楽しく集える場所。市内に47団体（平成27年度）あり、サロンでは自分たちの好きなことをしたり、話したりして楽しく過ごしている。（草加市社会福祉協議会） ■地域包括支援センター（市内8か所） 高齢者が住み慣れた地域で尊厳のある暮らしを継続できるよう、高齢者の生活を支えていく事業を実施する拠点。保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員がチームを組み高齢者の支援・相談を行っている。また、介護保険制度で要支援認定を受けた方のケアプランや介護予防プログラムの作成、高齢者虐待への対応、成年後見などの権利擁護に関する相談なども行っている。（長寿・介護福祉課）

課題・問題③	主な意見	市の取組み（一部）	市民の取組み（一部）	市と市民との協働の取組み（一部）
コミュニティの希薄化	・それぞれの立場で意見交換をする『みんなでまちづくり会議』自体が素晴らしい。→コミュニケーションの取り方を議論できる場に、若い世代や子育て世代が参加してくれるとより良い。 ・コミュニティのつながりのある地域、活動できる場をつくる地域、居場所がある地域、自分を認めてもらえる機会がある地域が安心につながる。 ・高齢者の自主的なボランティアや若い世代の交流ができる地域であるためには、自助・共助・公助の連携が必要である。 ・その場に出て来ない人たちをどうするのか。→どうしたら輪に入れるのか、それはそれで（そのままで）いいのか。地域の問題とは、個人をどこまで認め、まちとしてどこまで入っているのか。→個人情報の取り扱いが弊害になっているのではないかと。 ⇒市役所と市民の信頼関係が大切。 ・隣に住んでいる人を知らないなど、コミュニケーションが不足している。 ・世代を超えた交流の場をつくることや、町会・自治会の活性化がキーワードになるのではないかと。 ・町会・自治会を考えると、新住民と旧住民が分かれてしまっている。→お祭りなどの催物には、新住民や旧住民も参加する。バザーやお祭りなどの町会活動を通じて、小さいころから町会・自治会がどのようなものか知ってもらえるようになればいい。 ・町会・自治会がない地域もあり、会費を集める負担が大きい等の要因で高齢の方が町会・自治会を抜けるケースがある。加入率の低下は単純な問題ではない。 ・まずは身近な人と手を取り合うような形で、周りを巻き込みながらまちづくりを行うことが理想である。 ・PTAは“子ども”というつながりでコミュニティをつくることができる。⇒母親だけのコミュニティや一過性のコミュニティになってしまう可能性がある。 ・コミュニティの多様性や文化の違いがあっても、ゆるいつながりをどのように作っていけばいいのか。→魅力的なイベントで人がゆるく集まれるようなものがあつたらいい。	■町会・自治会活動促進事業 各地域において地域の特徴や特性を活かした活動が活発に行われることは、住み良いまちづくり、地域コミュニティづくりに大きく寄与することから、これらの活動を実施する町会・自治会に対し、財政面や活動について支援している。（みんなでまちづくり課） ■平成塾 高齢者を中心とする地域市民の憩いとふれあいの場として、また、学習を通じて生きがいを見つける場として、小学校施設の一部を利用して、生涯学習時代に応える新しい試みの施設として開設している。平成元年に開校した草加小学校内の草加平成塾を始めとして、市内に14か所を開設している。年間66,926人が参加している。（生涯学習課）	■市内各町会・自治会の活動 市内119の町会・自治会は、地域の様々な課題に自主的に取り組んでおり、地域コミュニティの発展に大きな役割を果たしている。	■町会・自治会加入促進キャンペーン（市内各町会・自治会） 地域活動の中心的役割を果たす組織である町会・自治会への加入を促進することで、地域住民がともに支え合えるつよいまちを目指すため、平成27年10月1日から市と各町会・自治会とで町会・自治会加入促進キャンペーンを実施。（みんなでまちづくり課） ■コミュニティセンターの指定管理業務（草加市コミュニティ協議会・谷塚東部ブロック瀬崎まちづくり市民会議） 地域の市民参加のもとでコミュニティづくりを推進するため、コミュニティセンターを中心とした地域活動を行い、地域のつながりや地域コミュニティを醸成する。（みんなでまちづくり課） （再掲）■ふれあい・いきいきサロン（別添一覧）

課題・問題④	主な意見	市の取組み（一部）	市民の取組み（一部）	市と市民との協働の取組み（一部）
人と人をつなぐシステムの構築	・いろんな人をつなぎあわせるシステムを構築したい。つなぎあわせるシステムと言えば、リーダーの育成である。 →既存のコミュニティとして、平成塾など様々な場所がある。そういったところをもっと再活用したい。 →つなぎあわせるシステムができていろいろな人が関わることは、生き生きとした市民をつくることや草加市の事を考える人を増やすことにつながるのではないかと。	■市民活動センター 市民の主体的なまちづくり活動を支援するとともに、市民相互や市民・行政・企業・大学などの連携を図り、協働によるまちづくりを実践するための拠点施設。公式Facebookにより市民活動団体のイベントや助成金情報等を発信している。 ■ふるさとまちづくり応援基金 市民活動団体に対し財政的な支援をすることで、市民団体が活動を発展継続しながら自立していく一連の過程を支援するとともに、基金の申請を機に新たな活動や団体が生まれ、団体間の連携・ネットワークが促進されることを目的として設置されている。	■NPO法人みんなのまち草の根ネットの会の活動 《活動の目標》 個人や団体の持っている熱意、努力、経験、情報などを伝え合い、さらに行政につなげていくためのネットワークづくりを目指し、そのために行政と市民、市民と市民をつなげていく調整役としてのネットワークを全市民的に拡大していく。	■国際相談コーナー（Living in Japan） 平成15年4月1日、市民の提案に基づき市役所内に開設。日本語によるコミュニケーションが困難な外国籍市民のための相談と生活支援活動を行っている。市民と行政のパートナーシップにより設立された。（人権共生課） ■協働のひろば（市民活動センター協働のひろば運営委員会） 協働のひろば運営協力員と共に、毎月一回運営会議を開催し、市民同士の交流の中から出た意見を、まちづくり講座やふれあいカフェ、市民活動の実践の場への視察、協働のひろば講座、市民活動相談等、市民活動を知らない方でも市民活動のきっかけづくりとして参加が出来るように、様々な視点から協働のひろばを活かし、市民活動の実践に移せるような「出会い/気づき/つながる/広がる/深める」を目指している。

課題・問題⑤	主な意見	市の取組み（一部）	市民の取組み（一部）	市と市民との協働の取組み（一部）
施設の（再）活用	・シャッター商店街の活用 →児童館や高齢者が集まる施設として再活用できないか。 ・何人かが集まって話をしようと思っても、公共施設はいつも予約がいっぱいで場所がない。 →町会会館等の施設を活用できないか。 ・施設全体をコーディネートする役割の人が必要ではないか。 →コミュニティセンターや公民館が拠点となつて、この施設は埋まっているけれど他の施設ならこのような手続きで使えるといったことをアドバイスする人が必要。 ・文化会館のフリースペースのような形で、空いているスペースを活用できないか。 ・コミュニティセンター等の地域の施設は高齢の方の利用がメインである。 →若者を集めることができるような、若者と高齢者が触れ合えるような場所をつくりたい。	■旧道沿道リノベーションまちづくり 遊休不動産を活用し、都市型産業の集積を図る事で、都市・地域経済課題を解決し、地域を再生させるために、「現代版家守（やもり）」と呼ばれる民間のまちづくり会社による民間主導、公民連携の取組み。（産業振興課） （再掲）■空き教室等の活動（平成塾）（生涯学習課） ■谷塚小学校・高砂小学校等施設の複合化 小学校の建て替えの際に、文化センターやコミュニティセンター、保育園等との複合施設として整備。	■ふらここ 人と人の輪を大切に、地域の三世代が交流し学びあうコミュニティづくりとして、古民家を利用した伝統体験、講座、イベント等を実施。（ふらここ） ■みんなの広場あきちゃんち 空き家を活用した三世代交流の場。（かるがもクラブ） （再掲）■松原団地見守りネットワーク（松原団地D商店街）	■つどいの広場事業（市内のNPO法人等） 乳幼児と保護者を対象とした常設の遊び・交流の場を提供する。（子ども政策課） ■草加宿神明庵運営事業（草加宿神明庵運営協議会） 草加市の都市型観光の一層の推進及び地域の活性化を図ることを目的とし、お休み処・観光案内所、ギャラリー等の機能を持つ草加宿神明庵を運営する。（文化観光課）

課題・問題⑥	主な意見	市の取組み（一部）	市民の取組み（一部）	市と市民との協働の取組み（一部）
情報発信・情報収集	・草加市は様々な団体がいろいろな活動を行っているが、その情報をどこで集めればいいのか。 →コミュニティセンター等の施設でそれぞれ行っているが、一つに集約できればいい。 ・生涯学習のバンクが草加市にはあるのかなど、行政の仕組みをあまり知らない。 →もっと情報提供してもらって活用したい。 ・平成塾等の認知が低い。 ・情報発信について、中核的にサポートするシステムがあつた方がいい。	■草加市生涯学習情報提供サイト 主に市内で活動している団体・サークルや指導者の情報、市内の公民館等で行われている生涯学習情報を紹介し、市民の皆さんの『学び』を支援。（生涯学習課） ■草加市公式ホームページ、Facebook（市民活動センター、地域経営室、リノベーションまちづくり草加）、YouTube（SKT channel、国指定名勝「おくのほそ道の風景地草加松原」	■草加元氣放送局 草加の街をもっと盛り上げ元気にしたいという思いからスタートした地域密着型インターネット放送局。草加市に縁あるイベント、祭り、催事、お店等の情報を発信している。（草加元氣放送局） ■草生人 「草生人」は、「草加の再発見」をキャッチコピーとしたフリーペーパー。草加のまちの活性化を目指して発行を続けている。（株式会社アジモズ） ■各種団体のホームページ	■そうか子育て応援・情報サイト ぼつくるん 市と市民による、子どもと子育て家庭のための、子どもと子育て情報専門のサイトにより、誰もがいつでも気軽に行政・民間に関わらず必要な情報を素早く知ることができる。（子育て支援センター）

◆テーマ：市民が安全にかつ快適に利用できる公共的施設づくり

〔提案趣旨〕

建築から40年以上経過している「草加市文化会館」「草加市立中央公民館」「草加市立市民体育館」等の公共的施設はかなり老朽化しており、耐震性等の安全性の問題、修繕費支出の増加問題、利用する市民の利便性等の観点から、近い将来取り壊しが必要となることが予想される。

現在はそれぞれ別の建物となっているが、これからは総合的複合施設として、多機能のコンプレックスビルとして生まれ変わることが、利用する市民の安全性、草加市の支出費用の合理性、利用者の快適性等の観点から望まれるところである。

どのような機能がその建物に与えられるかも含めて、みんなでまちづくり会議のメンバーが建築場所や費用について検討し、実現に向けて提言していきたいと思う。

参考資料

草加市公共施設

※建築年度が古い順に上位30施設を抜粋

施設名	建築年度	施設区分
奥日光自然の家	1964	スポーツ・レクリエーション系施設
市庁舎(本庁舎)	1965	行政系施設
奥日光自然の家	1965	スポーツ・レクリエーション系施設
奥日光自然の家(本館、南館)、工業団地公園管理棟	1966	スポーツ・レクリエーション系施設
奥日光自然の家	1967	スポーツ・レクリエーション系施設
消防本部・消防署	1968	行政系施設
草加市文化会館	1971	市民文化系施設
市民体育館	1972	スポーツ・レクリエーション系施設
勤労青少年ホーム	1974	市民文化系施設
社会福祉協議会	1974	保健・福祉施設
新田サービスセンター	1975	行政系施設
勤労福祉会館	1975	市民文化系施設
旧谷塚文化センター(市民交流活動センター)	1975	市民文化系施設
養護老人ホーム 松楽苑	1975	保健・福祉施設
社会福祉活動センター	1978	保健・福祉施設
消防署青柳分署	1979	行政系施設
環境業務センター	1979	供給処理施設
川柳文化センター	1980	市民文化系施設
中央公民館	1981	市民文化系施設
原町コミュニティセンター	1982	市民文化系施設
瀬崎コミュニティセンター	1983	市民文化系施設
稲荷コミュニティセンター	1984	市民文化系施設
市民温水プール	1984	スポーツ・レクリエーション系施設
氷川コミュニティセンター	1985	市民文化系施設
スポーツ健康都市記念体育館	1985	スポーツ・レクリエーション系施設
保健センター	1986	保健・福祉施設
柳島コミュニティセンター	1987	市民文化系施設
そうか公園	1987	スポーツ・レクリエーション系施設
八幡コミュニティセンター	1988	市民文化系施設
知的障がい者授産施設 つばさの森	1988	保健・福祉施設

※学校教育施設(小・中学校等)、子育て支援施設(保育園・児童クラブ等)、公営住宅、行政施設の書庫を除く。

みんなでまちづくり会議の運用

みんなでまちづくり会議 の3つの機能

①市民同士の話し合い

議論のテーマを市民が発意し、市民が他の市民と話し合える場として活用できる機能。

同じテーマで活動する団体との情報交換や協力関係を築く場として活用したり、全く別のテーマで活動する団体からの新たな発想や広い視点での意見交換ができる場として活用します。

普段、なかなか接する機会のない市民同士が集まり、意見交換することで、新たな気づきが生まれます。

市民が
集まる場

情報交換
の場

②市からの発信・情報共有

市民からの提案がなくても、出来るだけ定期的な開催が実現できるよう、市が情報を発信したり、市民の意見を聴く場として活用します。特に、市の重要な計画等を策定する場合は、パブリックコメントとは別に、積極的にまちづくりに取り組む市民の意見を聴くことができる機会として活用します。

市の情報
発信の場

市民意見を
聴く場

③提案について考える

提案の前段の相談手法のひとつとして、みんなでまちづくり会議を市民同士の意見交換や協力体制確保の機会として活用し、まちづくりへの市民参加を促進するとともに、提案をより具体性のあるものとなるよう市民同士で提案を考える場としても活用します。

市民への
相談の場

提案を議論
する場

市民同士
の連携

市民活動
の活発化

提案

協働事業

市民自治
の実現

と

パートナー
シップによる
まちづくり

提案できるまちづくり計画の要件

①対等の立場

パートナーシップによるまちづくりの7つの原則に基づくもの
(主体性・対等性・協調性・柔軟性・公開性・普遍性・発展性)

②共通して取り組む目的

市の基本構想及び各分野の基本的な計画に反しないもの

③役割分担

提案者と市の役割分担が設定されているもの
(双方の役割がゼロでないもの)

《草加市みんなでまちづくり会議 応募テーマ一覧（5件）》

テーマ① 「子どもと大人の人権を大切にするまちづくり」

内 容：すべての人の人権が大切にされ、心地よく暮らせる街になるよう、「当事者」の話を聞き、立場の異なる人に対する共感を持つことを目指して、「人権」の問題を考える機会（フォーラムなど）を開く。単発的なものではなく、繰り返し、機会を重ねていくこと。子どもと大人が共に学び、認識を深めていけるものであること。「草加市子どもと大人の人権条例」のようなものが出来たら嬉しいと思います。

テーマ② 「首都直下型地震時の老人世帯の避難補助体制の構築」

内 容：現在は、地区民生委員が老人世帯のうち要介護者を主体に名簿を管理していますが、とても民生委員一人で25から50人もの老人の避難を援助できません。具体的な法律も条例もありません。どうしますか？

テーマ③ 「人が健康で楽しさ溢れるエアの町 草加」

内 容：子どもも大人も老人も住んで楽しい美しい町をめざす。自転車ロードを作り、体を鍛え、排気ガスの少ない町をめざす。日本で魁エアの町にする。その横には、花を植え、楽しい美しさを入れる。資源や特徴のない町だからこそ、必要である。まず始めに、河川の道を整備し、草加の町を一周できるようにする。老人の楽しみも増え、介護を受ける人も少なくなり、介護医療費を抑える事になる。

テーマ④ 「地域コミュニティの再生ー安全・安心して暮らせるまちづくりー」

内 容：少子高齢化が喫緊の課題となっています。大所高所の政策・施策は国や県が取り組むべきと考えますが、市民レベルで取り組める課題もあるように思います。それが本会議の目標でもありましょう。そこで、身近な問題として高齢者問題の観点から「地域コミュニティの再生」について考えてみたいと思います。シャッター街商店や空き屋の増加、老人の孤独死など、地域の崩壊が言われています。キーワードを“安全安心して暮らせるまちづくり”として、地域コミュニティ再生のためにはどうすればよいか。退職高齢者の増加（団塊世代）と活躍の場も視野に入れ、議論できればというのが趣旨です。

（※裏面あり）

テーマ⑤ 「市民が安全にかつ快適に利用できる公共的施設づくり」

内 容：建築から40年以上経過している「草加市文化会館」「草加市中央公民館」「草加市体育館」等の公共的施設はかなり老朽化しており、耐震性等の安全性の問題、修繕費支出の増加問題、利用する市民の利便性等の観点から、近い将来取り壊しが必要となることが予想される。

現在はそれぞれ別の建物となっているが、これからは総合的複合施設として、多機能のコンプレックスビルとして生まれ変わることが、利用する市民の安全性、草加市の支出費用の合理性、利用者の快適性等の観点から望まれるところである。

どのような機能がその建物に与えられるかも含めて、まちづくり会議のメンバーが建築場所や費用について検討し、実現に向けて提言していきたいと思う。